

水系1液型シリコン・UVハイブリッドエマルジョン

IPシリコンルーフNEO

◆環境対応型(エコ)水系塗料◆

低VOC(W1)

トルエン・キシレンゼロ配合

鉛・クロムゼロ配合

IPシリコンルーフNEO

超耐候性シリコン樹脂と特殊UV抑制剤のダブル効果

屋根をより一層美しくリフレッシュ！

水系瓦用塗料を他社メーカーに先駆け開発し、永年の実績と経験を有する弊社が、超耐候性屋根用塗料として**IPシリコンルーフNEO**を製品化したしました。

高耐候性シリコン樹脂に特殊UV抑制効果を付与させていますので、太陽光に含まれる紫外線や雨などの水分の影響による塗膜劣化を最小限に抑え、トップクラスの高耐候性塗膜を形成します。また、他社に先立ち、常備色・調色など色相の違いによる耐候性のバラツキを軽減させていますので、より均一で安定した高耐候性が得られ、今まで以上により一層安心してご使用いただけます。

特 長**耐候性に優れる(酸性雨にも対応)**

高耐候性シリコン樹脂に、特殊UV抑制効果を付与させていますので、トップクラスの耐候性、光沢保持を發揮します。また耐酸性、耐水性に優れ、長期にわたり高い塗膜性能を保持します。

色相の違いによる耐候性のバラツキを軽減

色相の違いによる耐候性のバラツキを軽減させていますので、常備色はもとより調色においてもより均一で安定した高い耐候性を發揮します。

密着性に優れる

カチオン系シリコン樹脂を主体とした浸透性、密着性に優れた水系1液型の**IPシリコンシーラーNEO**を専用シーラーとして設定していますので、信頼性の高い施工が可能です。

豊富な原色設定

IPシリコンルーフNEOは、常備色12色に加え、豊富な原色(17色)を設定していますので淡彩色、および濃色はもとより今まで水系塗料では難しいとされていたあざやかな色調への幅広い調色が可能です。

塗装工程が簡単でしかも安心

“**IPシリコンシーラーNEO** 1回塗り + **IPシリコンルーフNEO** 2回塗り”という1種類の塗装工程により、セメント瓦・スレート波板屋根はもちろんのこと、カラーベスト(コロニアル、フルベスト)・アスファルトシングルまで安定した施工が可能です。また、メタリック系においても高い隠蔽性を具備していますので同様の塗装工程で美しく仕上がります。しかもオール水系塗料の仕様ですので安心してご使用いただけます。(非危険物)

メタリック系の光沢をアップ

メタリック系の常備色については初期光沢および光沢保持率、光輝性ともに水系塗料においてはトップクラスの性能を具備し、しかも高い隠蔽性によりムラのない美しい仕上がりが得られます。また、吹付け塗装における光沢の減少率を低く抑えていますので現場での光沢の再現性を高めます。

“カラーベスト調”の風合いに調色可能

新設のカラーベストにおいては光沢が低く、シックな風合いを持っています。そのシック風合いを艶消し剤を使用せずカラーベストの生産ラインと同じ手法である特殊パウダーを添加していますので、塗膜性能を落とすことなく新設のカラーベストを再現することが可能です。(要望により“カラーベスト調”の風合いに調整致します)

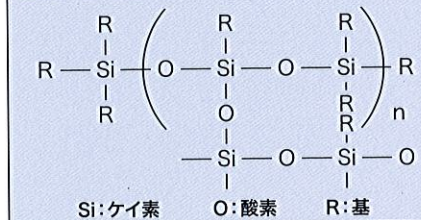
シーラー、上塗り共に防藻機能を付加

IPシリコンシーラーNEO、および**IPシリコンルーフNEO**ともに防藻機能を付与させていますので、素地調整において隠れている藻をシーラーでシャットアウトし、また塗装後経時によって塗膜表面に付着する藻までもシャットアウトします。

素地再生工法を充実

素地表面の劣化が激しい場合は補強および素地調整として**IPアンダーベスト**を用意していますのでご用命ください。市販のセメント系素地調整材(フィラー)とはまったく異なり、1液でエアレススプレー塗装ができ、しかも3~4時間で次の工程にかかれます。

■シリコンによるシロキサン架橋



常温でシロキサン架橋を形成することにより、ち密で強靱な塗膜を構成し、しかも密着性に優れます。

用 途

- セメント瓦・スレート波板屋根の新規塗装、および塗り替え
- カラーベスト(コロニアル・フルベストなど)、アスファルトシングルなどの塗り替え

(注)日本瓦・ゆうやく瓦・洋風コンクリート瓦、セキスイかわらUなどへの塗装はお避けください。

環 境 対 策

■低VOCタイプ

○VOCを標準とした室内塗料分類 (エマルジョン塗料VOC対策品) W1

■鉛ガイドライン

○東京都「鉛ガイドライン」(含有量0.06%以下) ゼロ配合

■室内濃度測定対象化合物

○国土交通省 住宅局 測定対象化合物 (トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン) ゼロ配合

○文部科学省 シックスクール測定対象化合物 (トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン) (スチレン・エチルベンゼン) ゼロ配合

■健康リスクに対する建築用塗料の目標基準(日本塗料工業会)

塗料設計条件 (エマルジョン塗料)	目標基準	判定
TVOC(全揮発性有機化合物)	1%以下	適合
芳香族系炭化水素	0.1%以下	適合
アルデヒド類	0.01%以下	適合
重金属(鉛、クロム類)	0.05%以下	適合
発癌性物質 生殖毒性物質 変異原性物質	0.1%以下	適合
感作性物質	0.1%以下	適合

(IPシリコンルーフNEO)

荷 姿

製 品 名	常 備 色	原 色	荷 姿
IPシリコンルーフNEO	ギンネズ ギンネズA ギン黒A ギン黒B ギン黒C	17色 対象製品設定原色 共通色見本参照	15kg 石油缶 3.5kg ガロン缶
	ココナッツブラウン オーシャンブルー チョコレートブラウン スレートブラック ウェザードグリーン ダークグレー グレー (カラーベスト調の風合いに調整可能)		
IPシリコンシーラーNEO	—	—	15kg 石油缶 4kg 角缶
IPアンダーベスト	ホワイト グレー	—	20kg 石油缶

IPシリコンルーフNEOは、淡彩、および濃彩調色が可能です。

塗 膜 性 能

試験項目	試験結果	基 準
光沢度(%)	70~82 (メタリック系80~83)	60° 鏡面反射率
隠ぺい率(%)	96.8	95以上
付着性	100/100	2mm角基盤目付着試験(ガムテープ)
耐候性	ΔE<1	スーパーキセノン 2500時間
耐水性	合格	常温水に30日間浸漬
耐アルカリ性	合格	10%苛性ソーダに10日間浸漬
耐酸性	合格	10%塩酸に10日間浸漬
耐洗浄性	合格	3000回の洗浄
凍結融解サイクル	合格	ASTM A法 300サイクル

(IPシリコンルーフNEO)

色見本



SR-100 ギンネズ



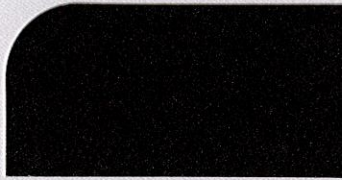
SR-105 ギンネズA



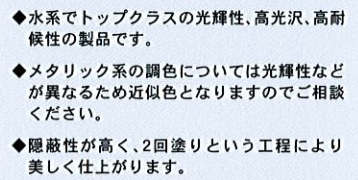
SR-110 ギン黒A



SR-120 ギン黒B



SR-130 ギン黒C



SR-160 オーシャンブルー



SR-250 グレー



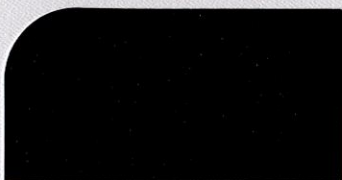
SR-200 ココナッツブラウン



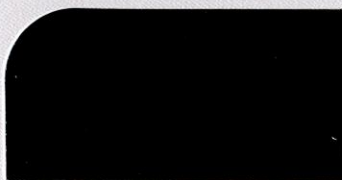
SR-260 ダークグレー



SR-150 チョコレートブラウン



SR-230 スレートブラック



SR-220 ウェザードグリーン

◆色見本以外に豊富な原色(17色)を設定していますので、水系では難しいとされるあざやかな色調への幅広い調色が可能です。(共通色見本参照)

◆淡彩色・濃色はもとより色見本以外のクボタのコロニアル色、ナショナルのフルベスト色、クボタ松下電工のコロニアルNEO色についても調色が可能ですのでご用命ください。

◆SR-150～SR-260または調色品についても“カラーベスト調”の風合いに調整が可能ですのでご用命ください。また、メタリック系については“カラーベスト調”の風合いには調整できませんのでご了承ください。

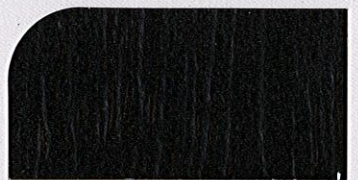
“カラーベスト調”の風合い色見本 (調色品についても調整可能です)



SR-250C グレー



SR-150C チョコレートブラウン



SR-220C ウェザードグリーン



SR-260C ダークグレー



SR-230C スレートブラック



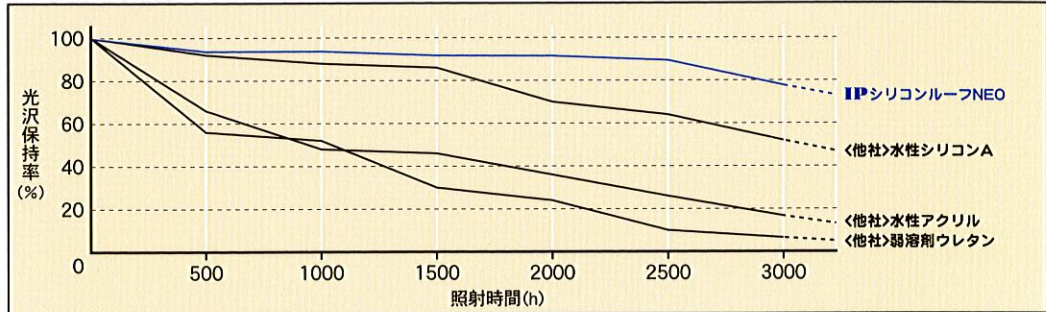
SR-200C ココナッツブラウン

この色見本はIPシリコンルーフNEOを紙に塗布していますが、素地の違いにより多少色調が異なることがあります。

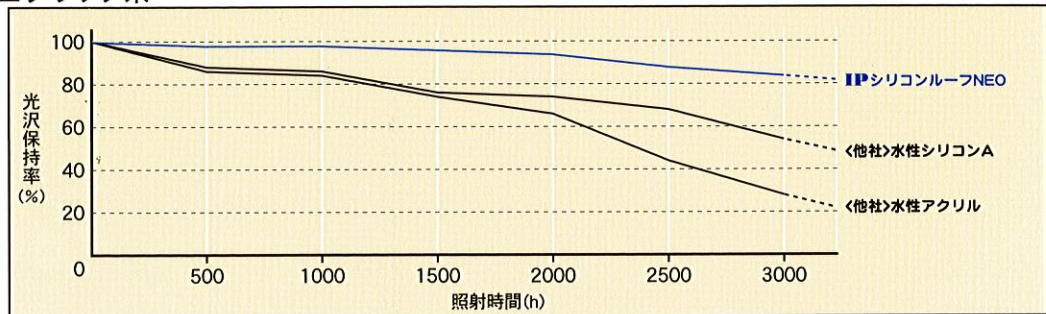
促進耐候性試験スーパーキセノンによる光沢保持率比較

IPシリコンルーフNEOは、色相の違いによる耐候性のバラツキを軽減させ、常備色はもとより調色においてもより均一で安定したトップクラスの耐候性・光沢保持を發揮します。

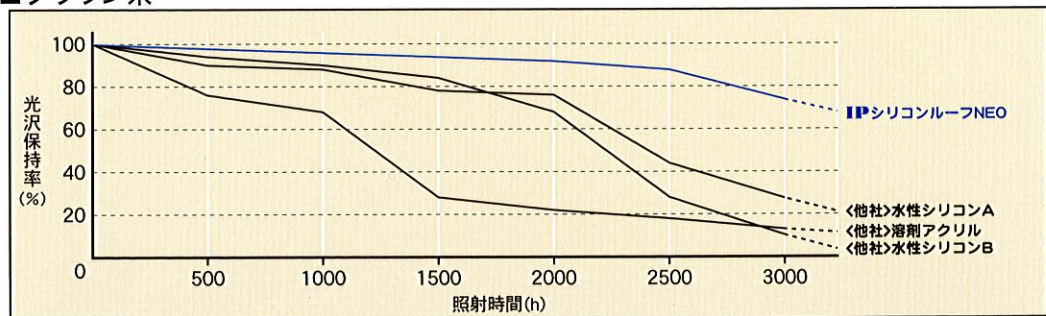
■メタリック系



■ブラック系



■ブラウン系



仕 様 書

■標準施工仕様書

(20℃ RH65%)

工 程	使 用 材 料	希 釈 率 (%)	塗 布 量 (kg/m ²)	塗 装 方 法	乾 燥 時 間	施 工 面 積 (m ²)
素地調整	・ゴミ、苔、藻、風化層、劣化した旧塗膜などは高圧洗浄機にて水洗いをし、完全に除去してください。 (必要によりワイヤーブラシを用いる) ・水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。(乾燥放置24時間以上)					
シーラー	IPシリコンシーラー-NEO	原体使用	0.12~0.15	ハケ・ローラー エアレススプレー	2時間以上	100~125m ² /15kg 26~33m ² /4kg
下塗り	IPシリコンルーフNEO	5~10 (清水)	0.13~0.15	ハケ・ローラー エアレススプレー	2時間以上	下塗り+上塗り 51~60m ² /15kg
上塗り	IPシリコンルーフNEO	5~10 (清水)	0.12~0.14	ハケ・ローラー エアレススプレー	2時間以上	12~14m ² /3.5kg

■素地再生工法標準施工仕様書(素地表面の劣化が激しい場合)

(20℃ RH65%)

工 程	使 用 材 料	希 釈 率 (%)	塗 布 量 (kg/m ²)	塗 装 方 法	乾 燥 時 間	施 工 面 積 (m ²)
素地調整	・ゴミ、苔、藻、風化層、劣化した旧塗膜などは高圧洗浄機にて水洗いをし、完全に除去してください。 (必要によりワイヤーブラシを用いる) ・水洗い後は十分に素地を乾燥させてください。(乾燥放置24時間以上)					
シーラー	IPシリコンシーラー-NEO	原体使用	0.12~0.15	ハケ・ローラー エアレススプレー	2時間以上	100~125m ² /15kg 26~33m ² /4kg
フィラー	IPアンダーベスト	5~10 (清水)	0.50~1.00	エアレススプレー	3時間以上	20~40m ² /20kg
下塗り	IPシリコンルーフNEO	5~10 (清水)	0.13~0.15	ハケ・ローラー エアレススプレー	2時間以上	下塗り+上塗り 51~60m ² /15kg
上塗り	IPシリコンルーフNEO	5~10 (清水)	0.12~0.14	ハケ・ローラー エアレススプレー	2時間以上	12~14m ² /3.5kg

施工面積は標準的な数値です。アスファルトシングルなど凹凸、または素地の吸い込みの大きい場合は、施工面積が大幅に減少することがありますのでご注意ください。

■施工上の注意事項

- ◆素地調整は必ず念入りに行ってください。
- ◆塗布量、および施工面積は表面状態や塗装条件により異なります。
- ◆シーラー工程は必ず行ってください。また、IPシリコンシーラー-NEOとIPシリコンルーフNEOを混合したり、塗装器具を洗浄せず共用しないでください。(ゲル化します)
- ◆使用材料は内容物が均一になるようによく攪拌してからご使用ください。特に、IPシリコンルーフNEOを“カラーベスト調”の風合いに調整した場合は、念入りに攪拌を行ってください。
- ◆各工程において施工面にホコリ、黄砂などの粉塵が飛来していないことを十分に確認し、必要に応じて除去、水洗いを行ってください。
- ◆塗装方法により希釈率を調整してください。尚、希釈率が10%を超えますと、タレや色分かれ、または塗料自体の沈殿などの原因となりますのでご注意ください。
- ◆IPシリコンルーフNEOは2回塗り以上を原則としています。塗装の放置時間については暖かい時期で1~2時間、寒い時期で3~4時間を目安にしてください。(尚、真夏の日中での塗装については屋根に散水して冷やしておくことも塗装を容易にする1つの方法です)
- ◆IPシリコンルーフNEOをエアレススプレー塗装で行う場合、ガンのチップは水性専用をご使用ください。また、飛散しないように中圧程度に設定し、周囲の養生を十分に行ってください。また、“カラーベスト調”の風合いに調整したものをエアレススプレー塗装で行う場合、ガンのチップの大きさは0.43mm以上のフリーパターンをお勧めします。
- ◆瓦が重なっている水切り部分が塗膜でふさがった場合は、皮すきやカッターなどを用いて縁切を行ってください。
- ◆IPアンダーベストは速乾性のため指触乾燥時間は10~20分ぐらいですが、塗膜性能上3時間程度は時間をあけて次の工程を行ってください。またエアレススプレー塗装の際、ガンのチップの大きさは0.43mm以上のフリーパターンをお勧めします。
- ◆乾燥を十分確認の上、次の工程を行ってください。特に冬期、梅雨期の施工は乾燥性が低下しますので十分注意してください。
- ◆塗装後、4~5時間は降雨、降雪、結露(夜露)に十分注意してください。
- ◆降雨が予想される日、気温5℃以下、または素地の表面温度5℃以下、湿度85%以上の場合は塗装をお避けください。
- ◆本カタログの記載内容についてご不明な点、または記載内容以外についてはお問い合わせください。

□製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

代理店名

IP インターナショナルペイント株式会社



本社・工場 〒760-0080 香川県高松市木太町3072番地
TEL 087-833-3525/FAX 087-833-3527
関東支店 〒330-0834 さいたま市大宮区天沼町2-952
TEL 048-644-3528/FAX 048-643-5291
関西支店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋3-6-13
TEL 06-6978-6855/FAX 06-6978-6856